

教育だより

第186号

平成31年(2019年)1月31日
 練馬区教育委員会
 練馬区豊玉北 6-12-1
 ☎5984-5609
<https://www.city.nerima.tokyo.jp/kosodatekyoiku/kyoiku/index.html>

子供たちを犯罪や不審者の被害から守るために

—保護者のみなさんから子供に伝えてほしいこと—

学校では、子供たちが犯罪や不審者の被害に遭わないよう警察と連携し、児童等を対象としたセーフティー講習などを行っています。また、教育委員会でも保護者のみなさんに防犯に関する考え方を知っていただくため、子供の見守り・安全講習会を開催しています。今回は、講習でお伝えしている登下校時などに子供が気をつけるべきポイントを紹介します。この機会に、ご家庭でもお子さんと安全について考えてみませんか？

◎開進第一小学校で子供の見守り・安全講習会を開催しました



平成30年11月10日(土)、開進第一小学校で保護者の方や地域の方向けに「子供の見守り・安全講習会」を開催しました。教育委員会の学校防犯指導員(警視庁警察官OB)が講師となり、子供が不審者に出会った場合の対応方法、迅速な110番通報の重要性などの講義の後、抱きつかれたり、肩などをつかまれたりした場合の離脱方法についての実技講習を実施しました。参加者からは「身近でできる対策がよくわかった。」「子供が声かけされたら110番すればよいことがわかった。」などの感想が寄せられました。

◎子供の安全を守るための12の約束 —お子さんにぜひお伝えください—

【その1】通学路をとる!



決められた通学路や、大人が大勢いる人通りの多い道を登下校する。

【その2】みんなで!



みんなと一緒に登下校する。

【その3】わすれない!



出かけるときは防犯ブザーを忘れない。(電池切れ注意)

【その4】かならずまもる!



遊びに行くときは家の人に行き先と帰る時間を言うてから出かける。

【その5】一人はあぶない!



一人で外で遊ばない。

【その6】「不審者」って…?



不審者は見た目ではわからない。

【その7】ついていかない!



知らない人に声をかけられてもついていかない。

【その8】車にのらない!



知らない人の車に乗らない。

【その9】すぐに逃げる!



つきまとわれたり連れていかれそうになったら、大きな声を出したり防犯ブザーを鳴らしてすぐに逃げる。

【その10】知らせる!



逃げるときには「お店」や「ひまわり110番」など助けてくれる大人がいる場所に逃げて知らせる。

【その11】ちゅうい!



エレベータに知らない人と二人で乗らない。

【その12】たしかめる!



家に誰もいない時は周りに人がいないことを確かめて「ただいま」と言って家に入り、すぐに家の中から鍵をかける。

◎保護者の皆様へお願い

- 1 万一の場合に備えて円滑なコミュニケーションがとれるよう、日頃から子供と何でも話し合える関係をつくりましょう。
- 2 子供が不審者に遭遇したことなどを話し始めたら「何でそんな場所にいたの。」などと叱らず、まず、話をよく聞いて事実を確認してください。
- 3 話を聞いて少しでも危険(保護者の主観で可)と感じたら、ただちに110番通報してください。(不審者等による「子供への声かけ」は110番事案です。) 通報後、学校にもご連絡ください。

【問合せ】教育総務課 学校安全推進担当係〔電話 5984-1346〕



練馬の子供たちの学力と体力の状況



毎年、国が学力を調査し、都が体力を調査しています。今年度の調査概要は以下のとおりです。

練馬区公式アニメキャラクター
ねり丸 ©練馬区

【全国学力・学習状況調査】

- 1 実施日
平成30年4月17日（火）
- 2 調査対象
小学校全65校の第6学年全児童および中学校全34校の第3学年全生徒
- 3 主な調査事項
(1) 国語 主に知識に関する問題A 主に活用に関する問題B
(2) 算数または数学 主に知識に関する問題A 主に活用に関する問題B
(3) 理科 主に知識に関する問題を主として、活用に関する問題も含む

【東京都児童・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査】

- 1 実施日
原則として平成30年6月中
- 2 調査対象
小学校全65校の全児童および中学校全34校の全生徒
- 3 主な調査事項
(1) 身長・体重
(2) テスト8種目

平成30年度の小学校6年生と中学校3年生の学力と体力の結果は次のとおりです。

〈学力〉 ※数値は平均正答率（単位は%）。全国のみ小数第一位までの表記となっている。

調査対象	小学校6年生					中学校3年生				
	国語A	国語B	算数A	算数B	理科	国語A	国語B	数学A	数学B	理科
練馬区	75	58	68	56	63	78	64	68	49	66
東京都	74	57	67	55	62	77	63	67	49	65
全国	70.7	54.7	63.5	51.5	60.3	76.1	61.2	66.1	46.9	66.1

〈体力〉 ※ボール投げは、小学生はソフトボール、中学生はハンドボールで測定。 ※全国の数値は平成28年度の数値を使用。

学・性別	調査対象	握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横跳び (点)	20mシャトルラン (回)	50m走 (秒)	立ち幅とび (cm)	ボール投げ (m)
小 男子	練馬区	19.3	22.5	35.3	45.6	60.6	8.8	164.3	25.2
	東京都	19.4	22.1	35.8	45.4	59.0	8.8	163.7	25.0
	全国	19.8	22.7	36.0	46.7	65.5	8.8	166.6	27.2
小 女子	練馬区	19.1	21.1	40.6	43.1	46.1	9.1	155.0	15.0
	東京都	19.2	20.8	41.2	43.3	46.4	9.1	155.6	14.8
	全国	19.7	20.5	40.1	43.9	50.5	9.2	156.4	16.5
中 男子	練馬区	33.5	30.1	45.8	55.0	91.9	7.6	206.8	22.1
	東京都	33.6	29.7	46.0	55.2	91.0	7.5	209.6	23.0
	全国	35.0	30.3	47.5	56.5	98.8	7.5	213.3	24.0
中 女子	練馬区	24.9	25.8	46.3	47.5	58.8	8.7	168.7	13.2
	東京都	24.8	25.3	47.0	48.0	58.4	8.7	171.5	13.5
	全国	25.7	25.1	47.8	48.8	62.6	8.6	174.9	14.5

学力も体力も結果を分析し、課題改善を図るための委員会を立ち上げています。協議した成果を全校に広く周知し、授業の工夫を進めています。

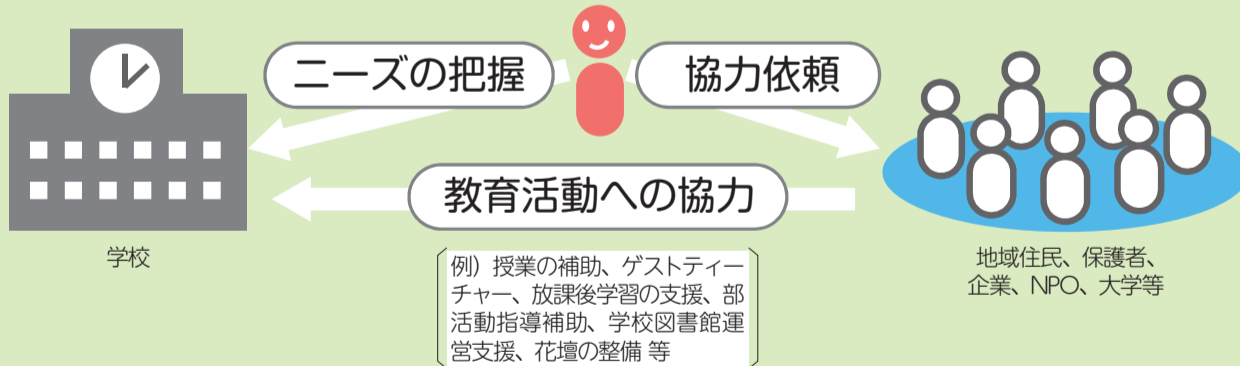
【問合せ】教育指導課 指導主事〔電話 5984-5759〕

地域で学校を充実させるために 区立小中学校・幼稚園で「学校・地域連携事業」を進めています

学校・地域連携事業は、地域の多様な人材を活用して、学校の教育活動の充実を目指すものです。事業実施3年目となる平成30年度からは、全小中学校・幼稚園で実施しています。

各校には、地域と学校の橋渡し役として「学校支援コーディネーター」を配置しています。学校支援コーディネーターは、学校のニーズに応じて、地域の方へ授業補助などの協力依頼や協力時のサポートなどを行います。

学校支援コーディネーター



ゲストティーチャー



放課後学習の支援

学校では、地域の方が様々な分野でご活躍されています

【問合せ】教育指導課 管理係〔電話 5984-5746〕

第37回 練馬区学校保健大会を開催

12月6日（木）に練馬文化センターで、保護者、学校医、学校歯科医、学校薬剤師、区立学校の教職員など約500人が参加して、「第37回練馬区学校保健大会」を開催しました。

大会では、「小中学校における食育の取組」をテーマとした研究発表や「人生の3割をしめる睡眠が残り7割の運命を決める」をテーマとした特別講演（一般社団法人日本眠育普及協会代表の橋爪あきさん）を行いました。

これからも、このような機会を通して、学校保健関係者の相互理解を深め、連携を図るとで、子供たちの健全育成につなげていきます。



第37回 練馬区学校保健大会
共催：練馬区学校保健会、練馬区教育委員会

【問合せ】保健給食課 少年自然の家・学校保健係〔電話 5984-5729〕

学校応援団の紹介 No.29

大泉学園小学校応援団まつり

「学校応援団」は、地域の方々による「ひろば事業」「開放事業」を通じて放課後の児童の見守り等を行っています。今回は、11月10日（土）に実施された大泉学園小学校応援団こどもまつりをご紹介します。

ペットボトルボーリング



ペットボトルで作った大きいボールとピンで、迫力あるボーリングが楽しめました。

ストラックアウト



晴れた空の下、勢いのあるボールと子供たちの大きな声が飛んでいました。

カップインピンポン



ピンポン玉を紙コップに向けて投げてカップインを狙いました。“やさしいバージョン”のコーナーでは、小さい子供たちの挑戦もみられました。

模擬店



スポーツ団体の方々がつくったチョコバナナ、わたがし、ポップコーン、ベビーカーがふるまわれ、長い列ができていました。校庭にビニールシートを敷き、みんなで舌鼓を打つ姿が見られました。普段はできない体験に、子供たちからは「楽しい!」という声が聞かれました。

リサイクル本コーナー



学校図書館で使わなくなった本をリサイクルしています。もらった本を抱える子供は嬉しそうでした。

【問合せ】子育て支援課 学校応援団・開放係(電話 5984-1057)

平成31年度ジュニアリーダー養成講習会の受講生を募集します

小学5・6年生と中学生を対象に、仲間作りのリーダーとして役立つよう、グループ活動の楽しさやルール、レクリエーション活動の技術や知識などを体験しながら学ぶジュニアリーダー養成講習会(小学5・6年生は年9回、中学生は年10回)の受講生を募集します。運営・指導は練馬区青少年委員会と、ジュニアリーダー養成講習会を修了した高校生以上の青年リーダーが行います。受講修了者は、地域のボランティア活動などにも参加しています。



キャンプファイヤーの様子



レクリエーション活動の様子

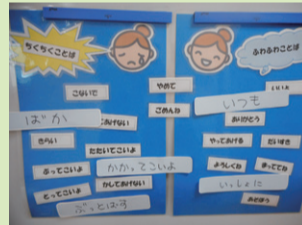
詳しくは、区立小中学校で配布する募集案内または区ホームページをご覧ください。2月18日(月)(消印有効)までにお申し込みください。

※区立小中学生以外の方はお問い合わせください。

【問合せ】青少年課 青少年係(電話 5984-4691)

大切にしよう お友達の心とからだ 南田中第二保育園

お友達と一緒にいるだけで楽しかった乳児期を過ぎ、幼児期になると、それぞれが言葉巧みになってやりとりを楽しむようになります。でも、人との関わりはまだ未熟。お友達の気持ちまではくみ取れず、思いがけない言葉や態度で傷つけてしまう場面も出てきます。



南田中第二保育園では、4歳児・5歳児向けに、ことばやからだについてのお話をしています。

ひとつは「ふわふわことばとちくちくことば」。言われると嬉しくなるふわふわことば、逆に、悲しくなるちくちくことばを、子供たちと一緒に考えます。また、ふわふわことばも言い方によってはちくちくことばになってしまうことも学びます。子供たちは聞いた話をあっと言う間に吸収し、「今の言い方はちくちくして嫌だったよ」と伝える姿が見られます。

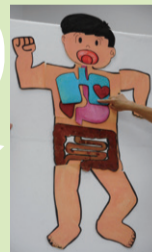
もうひとつは「からだのはなし」。人体の図を見ながら、からだにはそれぞれ大切な役割があり、壊れてしまうと大変なことを知ります。お友達を叩いたりしてしまうことを考えるきっかけとなります。

どちらも、子供の成長に合わせ、タイミングを見て話します。人と人との関わりを覚え始める幼児期だからこそ、一緒に考えていきたいものです。



「ありがとう」ってどっちかな?

頭は心臓を動かす信号を出すところ。叩いたりしてはいけないよ。



【問合せ】保育課 管理係(電話 5984-5839)

平成30年度 練馬区教育委員会児童・生徒表彰

練馬区教育委員会では、さまざまな活動の場において一生懸命努力している子供たちを応援するため、児童・生徒表彰を行っています。

平成30年度は、スポーツ・文化芸術などで活躍した、個人213名と団体11組の表彰者を決定しました。表彰状は各学校で授与されます。

対象となった児童・生徒の氏名などの詳細については、QRコードを読み取るか、区ホームページから「練馬区児童・生徒表彰」で検索してください。



【ホームページアドレス】

<https://www.city.nerima.tokyo.jp/kosodatekyoiku/kyoiku/gakko/hyoesha.html>

【問合せ】教育総務課 庶務係(電話 5984-5609)

新しい年を迎えて～教育委員会からのごあいさつ～



新しい年へ
教育長 河口 浩

新しい年が始まりましたが、「心の教育」「ゆとり教育」「脱ゆとり教育」「アクティブ・ラーニング」と教育改革に揺れた平成は終わろうとしています。いじめや不登校、子供の命を脅かす事件や災害もありました。子供をどう守り、子供とどう向き合うか、重いテーマではありますが、教育委員会は、今年も子供たちの笑顔のために力を尽くしたいと思います。引き続き、皆様のご理解とご協力をお願いいたします！



子供たちの健やかな成長のために
委員 高柳 誠

昨年、学校訪問や公開授業の機会に大勢の子供たちに出会いました。

自分の考えを積極的に発表する子、友達と話し合い仲よく学習する子、「こんにちは」と元気よく挨拶する子等々、子供たちが健やかに成長している姿に学び、子育てや保育、教育の重要性の認識を深めました。

本年も、子供たちが「夢や目標を持ち、困難を乗り越える力」を育み、健やかに成長することができますよう、力を尽くして参ります。



先生と生徒の大切な出会い
委員 坂口 節子

小中学校の授業風景の見学をすることがあります。先生の問いに子供たちが真っ直ぐな目でさっと手をあげる様子に胸が熱くなります。教育は短絡的に成果を見ることはできません。でも、ある学年で出会った先生がもしかしたら、子供にとって人生最大の恩師になるかもしれません。

大人たちも、学校生活で出会った大切な先生との思い出や体験を子供たちに語る、宝玉のような時間を持ちませんか？



子供とのふれあい
委員 新井 良保

本年6月に教育委員に就任しました。よろしくお願いいたします。

教育委員会の定例会、教科書採択、研究発表会など、様々な貴重な経験をさせていただきました。その中で出前教育委員会での子供とのふれあいが印象に残っています。一緒に食べた給食、一問一答での話らいなど、忘れられない経験です。

これからも子供とのふれあいを第一に、子供からも学びながら、教育委員としての職責を全うして参ります。



豊かな教育を
委員 伊神 泉

半年前、教育委員になり、練馬区の教育を深く考えるようになりました。

子供たちを取り巻く環境は、様々な方の支えが必要です。幼児期から中学、高校生までの長い時間を、総合的に見守っていく姿勢は、極めて重要であると考えております。

豊かな教育は、子供たちの心が成長する第一歩です。そんな子供たちの教育環境づくりに貢献できるよう努めて参ります。

出前教育委員会を実施しています

教育委員会の役割や仕組みについて理解を深め、より身近に感じていただくために、教育委員が区立学校に出向いて会議を開く出前教育委員会を実施しています。今年度は、光が丘秋の陽小学校(5月)、大泉学園緑小学校(7月)、大泉北小学校(10月)、豊玉第二中学校(11月)の4校で行いました。

また、学校で出前教育委員会を行う際には、教育委員が児童・生徒や保護者の方々から直接、意見や要望をお聞きする意見交換会も併せて実施しています。

意見交換会でいただいた質問の一部を要約してご紹介します。

《児童》質問：5・6年生だけを対象に移動教室を行っているのはなぜですか。

回答：集団での宿泊生活は、各ご家庭での生活よりも色々な面で不自由になるなど、負担を感じる場面も出てきます。このため、移動教室は5・6年生の時に行っています。なお、1年生から4年生については、日頃の学級活動や遠足などの日帰りの活動の中で、仲良く助け合い協力し合って楽しい学級生活を一步一步築いていくことを学び、高学年になった時、移動教室に円滑に参加できるよう準備しています。

《生徒》質問：iPadなどを使った授業を受けてみたいのですが、導入する予定はありますか。

回答：タブレットパソコンだけではなく、パソコンや大型ディスプレイなどを使うことで、インターネットやデジタル教材の画像や動画を活用した、より分かりやすい授業を行うことができる環境を作ろうと考えています。昨年度から小学校4校、中学校2校にタブレットパソコンと大型ディスプレイなどを取り入れ、活用方法や効果について研究しています。将来的には、全小中学校で導入できるように計画しています。

《保護者》質問：オリンピック・パラリンピック教育をどのように進めているのでしょうか。

回答：子供たちに「ボランティアマインド」、「障害者理解」、「スポーツ志向」、「日本人としての自覚と誇り」、「豊かな国際感覚」の5つの資質を育む取組を進めています。各学校では、年間35時間程度を目安としたオリンピック・パラリンピック教育の年間指導計画を作成し、各学校の特色を生かしながら、全教育活動を通じて5つの資質を育む教育を行っています。



意見交換会の様子(豊玉第二中学校)



教育委員も一緒に給食をいただきました。(大泉北小学校)

※ 意見交換会の概要はホームページに掲載しています。

【ホームページアドレス】

<https://www.city.nerima.tokyo.jp/kosodatekyoiku/kyoiku/kyoikuiinkai/ikenkoukankai.html>



【問合せ】教育総務課 庶務係〔電話 5984-5609〕

「教育だより」へのご感想やご要望をお寄せください

教育だよりの紙面に対してはもちろん、各記事の詳細につきましてもご感想やご要望をお待ちしております。下記のホームページアドレス、またはQRコードからアクセスし、「教育だよりのご感想・ご要望はこちら」よりメールをお寄せください。いただいたご感想、ご要望は、次号以降の記事作成の参考とさせていただきます。よろしくお願いいたします。

教育総務課 庶務係 【教育だより ホームページアドレス】

<https://www.city.nerima.tokyo.jp/kosodatekyoiku/kyoiku/gakko/kyoikudayori.html>

